

需要想定報告調書

1

1. 供給区域需要想定総括表

1-(1)-a 目標年度用途別内訳

事業者名 _____

(単位:百万kWh)

用途別	年度	実績	推定実績	想 定										備 考
	前年度	前年度	当年度	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度	第6年度	第7年度	第8年度	第9年度	第10年度	
特定規模需要以外の需要	電 灯	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	低圧電力	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	その他電力計	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	深夜電力	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	その他電力	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	小 計 (a)	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	/
特定規模需要	(b)	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	
業務用	業務用	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	
	産業用その他	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	
供給区域需要計	(a)+(b)=(c)	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	

- (注) 1. 当年度は11月まで実績値、12～3月は推計値とすること。
 2. 前年度～第2年度は生値の他、《 》内には気温閾補正後値を記載すること。
 また、第3年度以降の閏年においては、平年ベース(閾補正後)値のみ記載すること。
 3. 実量制料金制度および時間帯別電灯、低圧高負荷型契約導入後ベースである。
 4. 特定規模需要は特高・高圧受電(50kW以上、但し沖縄電力は2000kW以上)である。
 5. 特定規模需要(業務用)には、電気事業法第二条第十四項ハに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。
 6. 特定規模需要(産業用その他)には、電気事業法第二条第十四項イおよびハに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。

2

1. 供給区域需要想定総括表

1- (1) - b 第1年度月別用途別内訳

事業者名

(単位:百万kWh)

用途別	月別															備考	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計		
特定規模需要以外の需要	電灯																
	低圧電力																
	その他電力計																
	深夜電力																
	その他電力																
小計 (a)																	
特定規模需要 (b)																	
業務用																	
産業用その他																	
供給区域需要計 (a)+(b)=(c)																	

(注) 1. 実量制料金制度および時間帯別電灯、低圧高負荷型契約導入後ベースである。
 2. 特定規模需要は特高・高圧受電(50kW以上、但し沖縄電力は2000kW以上)である。
 3. 特定規模需要(業務用)には、電気事業法第二条第十四項に掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。
 4. 特定規模需要(産業用その他)には、電気事業法第二条第十四項イおよびハに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。

1(2) 2015/3/18

1- (2) 供給区域需要想定総括表

事業者名

(単位:百万kWh、千kW、%)

用途別	年度		想 定										備考			
	実績 前年度	推定実績 当年度	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度	第6年度	第7年度	第8年度	第9年度	第10年度				
供給区域需要計	需要電力量	《 》	《 》	《 》	《 》											
	変電所内内用電力量	《 》	《 》	《 》	《 》											
	需要端需要電力量	《 》	《 》	《 》	《 》											
	送電損失率(%)	《 》	《 》	《 》	《 》											
	送電端需要電力量	《 》	《 》	《 》	《 》											
	最大需要電力	< > ()	< > ()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
	年負荷率(%)	< > ()	< > ()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
中間年度の想定方法 (第3年度～第4年度、 第6年度～第9年度)																

(注) 1. 当年度は11月まで実績値、12～3月は推計値とすること。
 2. 前年度～第2年度は生値の他、《 》内には気温間補正後値を記載すること。
 また、第3年度以降の閏年においては、平年ベース(間補正後)値のみ記載すること。
 3. 夏季最大需要電力について、実績は全国最大発生月の値を、想定は8月値を記載すること。
 また、< >内には自らの供給区域の最大発生月の気温補正後値を記載すること。
 4. 冬季最大需要電力地域においては、冬季最大需要電力、冬季最大需要電力に対する年負荷率をそれぞれ()内に記載すること。

2. 短期（第1年度、第2年度想定）

2-1. 特定規模需要以外の需要のうち電灯 [供給区域需要]

事業者名 _____

(単位：百万kWh、千口、千kVA、kWh/口、kWh/kVA)

項目 年度	特定規模需要以外の需要（電灯）												
	従量電灯A B			従量電灯C			時間帯別電灯			低圧高負荷型契約			その他電灯
	電力量	需要数	原単位	電力量	需要数	原単位	電力量	需要数	原単位	電力量	需要数	原単位	電力量
○年度													
○年度													
○年度													
○年度													
○年度													
○年度													
○年度													
前年度													
当年度													
第1年度	《 》		《 》	《 》		《 》	《 》		《 》	《 》		《 》	《 》
第2年度	《 》		《 》	《 》		《 》	《 》		《 》	《 》		《 》	《 》
決定係数													
想定方法等													

- (注) 1. 原則として、「需要数」・「原単位」は年延べ値。なお、需要数として「口数」を採用した場合、項目欄の「需要数」を「口数」に置き換えて記載すること。
 2. 電力量による想定の場合は、需要数（もしくは口数）・原単位の欄の記載は不要。
 3. 内訳として業種別等で想定している場合には、その分類に基づき記載すること。
 4. 前年度までは実績値、当年度は推定実績、第1年度～第2年度は想定値。《 》内は気温間補正後を記載すること。
 5. 想定方法等には、用いた諸元（指標、観測期間等）や回帰式等を記載すること。

2-2. 特定規模需要以外の需要のうち電灯以外 [供給区域需要]

事業者名 _____

(単位：百万kWh、千口、千kVA、kWh/口、kWh/kVA)

項目 年度	特定規模需要以外の需要（電灯以外）									
	低圧電力			深夜電力			その他電力 (深夜以外)			
	電力量	需要数	原単位	電力量	需要数	原単位	電力量	電力量	需要数	原単位
○年度										
○年度										
○年度										
○年度										
○年度										
○年度										
○年度										
前年度										
当年度										
第1年度	《 》		《 》	《 》		《 》	《 》	《 》		《 》
第2年度	《 》		《 》	《 》		《 》	《 》	《 》		《 》
決定係数										
想定方法等										

- (注) 1. 原則として、「需要数」・「原単位」は年延べ値。需要数として「口数」を採用した場合、項目欄の「需要数」を「口数」に置き換えて記載すること。
 2. 電力量による想定の場合は、需要数（もしくは口数）・原単位の欄の記載は不要。
 3. 内訳として業種別等で想定している場合には、その分類に基づき記載すること。
 4. 前年度までは実績値、当年度は推定実績、第1年度～第2年度は想定値。《 》内は気温間補正後を記載すること。
 5. 沖縄電力の業務用電力（特定規模需要以外の需要）、高圧電力Aおよび高圧電力Bについては、当表に記載すること。
 6. 想定方法等には、用いた諸元（指標、観測期間等）や回帰式等を記載すること。

2-3. 特定規模需要 [供給区域需要]

事業者名 _____

(単位:百万kWh)

項目	特定規模需要	
	業務用	産業用その他
年度	電力量	電力量
○年度		
○年度		
○年度		
○年度		
○年度		
○年度		
○年度		
○年度		
前年度		
当年度		
第1年度	《 》	《 》
第2年度	《 》	《 》
決定係数		
想定方法等		

- (注) 1. 前年度までは実績値、当年度は推定実績、第1年度～第2年度は想定値。《 》内は気温閾補正後を記載すること。
 2. 特定規模需要(業務用)には、電気事業法第二条第十四項ハに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。
 3. 特定規模需要(産業用その他)には、電気事業法第二条第十四項イおよびハに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。
 4. 想定方法等には、用いた諸元(指標、観測期間等)や回帰式等を記載すること。

2-4-(1). 最大需要電力 [供給区域需要] (夏季)

事業者名 _____

(単位:千kW)

項目	年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	前年度	当年度	第1年度	第2年度
	夏季需要												
ベース需要													
最大需要電力(供給区域)													

想定方法等	夏季需要	
	夏季需要・ベース需要	
	ベース需要	
負荷率による想定		
備考		

- (注) 1. 当年度までは実績値、第1年度～第2年度は想定値。
 2. 負荷率による想定を採用した場合、夏季需要・ベース需要の欄は記載不要。
 3. 想定方法等には、用いた諸元(指標、観測期間等)や回帰式等を記載すること。

2-4-(2). 最大需要電力 [供給区域需要] (冬季)

事業者名 _____

(単位:千kW)

項目	年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	前年度	当年度	第1年度	第2年度
	冬季需要												
ベース需要													
最大需要電力(供給区域)													

想定方法等	冬季需要積み上げ	冬季需要	
		ベース需要	
	負荷率による想定		
備考			

- (注) 1. 冬季最大発生会社のみ作成すること。
 2. 当年度までは実績値、第1年度～第2年度は想定値。
 3. 負荷率による想定を採用した場合、冬季需要・ベース需要の欄は記載不要。
 4. 想定方法等には、用いた諸元(指標、観測期間等)や回帰式等を記載すること。

3. 長期(第10年度想定)

3-1. 電灯 [供給区域需要]

事業者名 _____

3-1-1 (1) 電灯 [供給区域需要] (総括表)

想定値	従量電灯+選択約款 (千口)	原単位 (kWh/口)	電灯合計 (百万kWh)

注) 選択約款=時間帯別電灯、低圧高負荷型契約

3-1-1 (2) 電灯 [供給区域需要] (口数)

	人口	人口 /口数	前年差	従量電灯 +時間帯 別電灯			口数想定方法
				(再掲) 従灯A	(再掲) 従灯B	(再掲) 従灯C	
○年度							[従量電灯 A・B]
○年度							
○年度							
○年度							
○年度							
○年度							[従量電灯 C]
○年度							
○年度							
前年度							[時間帯別電灯]
当年度							
第1年度							
第2年度							
第3年度							
第4年度							
第5年度							
第6年度							
第7年度							
第8年度							
第9年度							
第10年度							

- 注) 1. 口数は年央値(延べ口数の1/12)とすること。
 2. 口数の想定は、一口当たり人口の傾向により求めることを原則とする。

3-1-(3) 電灯〔供給区域需要〕（原単位、電力量）

事業者名

(単位:百万kWh、kWh/口、%)

項目	従量電灯A B			従量電灯C			時間帯別電灯			その他電灯	電灯合計
	口数	原単位	電力量	口数	原単位	電力量	口数	原単位	電力量	電力量	電力量
年度											
○年度							()	()	()		
○年度							()	()	()		
○年度							()	()	()		
○年度							()	()	()		
○年度							()	()	()		
○年度							()	()	()		
○年度							()	()	()		
○年度							()	()	()		
○年度							()	()	()		
前年度							()	()	()		
第10年度							()	()	()		
決 定 係 数											
想定方法等											

- (注) 1. 低圧高負荷型契約導入済の会社は()内にその値を別掲し電灯合計に加算すること。
 2. 想定方法等には、用いた諸元（指標、観測期間等）や回帰式等を記載すること。
 3. 観測期間は原則として前年度までの過去11年間によるものとするが、その他の期間によった場合は想定方法等欄に記載すること。

3-2. 低圧電力、その他電力〔供給区域需要〕（需要数、口数、原単位、電力量）

事業者名

(単位:千kW、千口、kWh/kW、kWh/口、百万kWh)

項目	低圧電力 合計			深夜電力			その他電力
	需要数	原単位	電力量	口数	原単位	電力量	電力量
年度							
○年度							
○年度							
○年度							
○年度							
○年度							
○年度							
○年度							
○年度							
○年度							
前年度							
第10年度							
決 定 係 数							
想定方法等							

1. 需要数、口数は年央値(年間延べ需要数、口数の1/12)とする。
 2. 想定方法等には、用いた諸元（指標、観測期間等）や回帰式等を記載すること。
 3. 観測期間は原則として前年度までの過去11年間によるものとするが、その他の期間によった場合は想定方法等に記載すること。

3-3. 特定規模需要〔供給区域需要〕（電力量）

事業者名 _____

(単位:百万kWh)

項目 年度	特定規模需要		
	合計	業務用 電力量	産業用その他 電力量
	電力量	電力量	電力量
○年度			
○年度			
○年度			
○年度			
○年度			
○年度			
○年度			
○年度			
○年度			
○年度			
前年度			
第10年度			
決 定 係 数			
想定方法等			

- (注) 1 特定規模需要（業務用）には、電気事業法第二条第十四項へに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。
 2 特定規模需要（産業用その他）には、電気事業法第二条第十四項イおよびハに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。
 3 想定方法等には、用いた諸元（指標、観測期間等）や回帰式等を記載すること。
 4 観測期間は原則として前年度までの過去11年間によるものとするが、その他の期間によった場合は想定方法等欄に記載すること。

3-4-(1). 最大需要電力〔供給区域需要〕（夏季）

事業者名 _____

(単位:千kW)

項目	年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	前年度	第10年度
	夏季需要												
ベース需要													
最大需要電力(供給区域)													

想定方法等	夏季需要積み上げベース	夏季需要	
		ベース需要	
		負荷率による想定	
備考			

- (注) 1. 負荷率による想定を採用した場合、夏季需要・ベース需要の欄は記載不要。
 2. 想定方法等には、用いた諸元（指標、観測期間等）や回帰式等を記載すること。
 3. 観測期間は原則として前年度までの過去11年間によるものとするが、その他の期間によった場合は備考欄に記載すること。

3-4-(2). 最大需要電力【供給区域需要】(冬季)

事業者名 _____

(単位:千kW)

項目	年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	前年度	第10年度
冬季需要													
ベース需要													
最大需要電力(供給区域)													

想定方法等	冬季需要・ベース	冬季需要	
	ベース需要		
	負荷率による想定		
備考			

- (注) 1. 冬季最大発電会社のみ作成すること。
 2. 負荷率による想定を採用した場合、冬季需要・ベース需要の欄は記載不要。
 3. 想定方法等には、用いた諸元(指標、観測期間等)や回帰式等を記載すること。
 4. 観測期間は原則として前年度までの過去11年間によるものとするが、その他の期間によった場合は備考欄に記載すること。

4. 自社需要想定総括表
 4-1(1) 目標年度用途別内訳

事業者名 _____

供給区域 _____

(単位:百万kWh)

用途別	年度	実績	推定実績	想 定										想定手法	
		前年度	当年度	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度	第6年度	第7年度	第8年度	第9年度	第10年度		
特定規模需要以外の需要	電 灯	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	低圧電力	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	その他電力計	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	深夜電力	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	その他電力	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
小 計 (a)	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
特定規模需要 (b)	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
自社需要計 (a)+(b)=(c)	《 》	《 》	《 》	《 》	/	/	/	/	/	/	/	/	/		

- (注) 1. 当年度は11月まで実績値、12~3月は推計値とすること。
 2. 上段に実績または想定値を記載のこと。また、気温閾補正後の値があれば《 》内に記載すること。
 3. 実量制料金制度および時間帯別電灯、低圧高負荷型契約導入後ベースである。
 4. 特定規模需要は特高・高圧受電(50kW以上、但し沖縄電力は2000kW以上)である。

4-(2) 自社需要想定総括表

事業者名 _____
 供給区域 _____
 (単位:百万kWh、千kW、%)

用途別	年度	実績	推定実績	想 定										想定方法
	前年度	前年度	当年度	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度	第6年度	第7年度	第8年度	第9年度	第10年度	
自 社 需 要 計	需要電力量	《 》	《 》	《 》	《 》									
	送電損失率(%)	《 》	《 》	《 》	《 》									
	送電端需要電力量	《 》	《 》	《 》	《 》									
	最大需要電力	< > ()	< > ()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
	年負荷率(%)	< > ()	< > ()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
中間年度の想定方法														

- (注) 1. 当年度は11月まで実績値、12～3月は推計値とすること。
 2. 需要電力量、送電損失率、送電端需要電力量について、気温補正後の値があれば《 》内に記載のこと。また、第3年度以降の閏年においては、平年ベース(閏補正後)値のみ記載すること。
 3. 夏季最大需要電力について、実績は全国最大発生月の値を、想定は8月値を上段に記載のこと。また、気温補正後の値があれば、中段の< >内に自社最大月の補正後値を記載すること。
 4. 冬季最大需要電力地域においては、冬季最大需要電力、冬季最大需要電力に対する年負荷率をそれぞれ()に記載すること。

提出期日

- 5月末 別紙2、3(下期分)冬季最大会社のみ
別紙B-2(前年度分)最大需要電力分析
(冬季最大会社のみ)
- 6月末 1(総括生値)
1(総括補正後)
2(夏季・ベース)最大需要電力除く
別紙1~4、(下期分)電力量
- 7月末 別紙A-1,A-2(前年度分)電力量分析
- 10月末 別紙1~4(上期分)最大需要電力のみ
3(総括生上)最大需要電力のみ
別紙B-1(当年度分)最大需要電力分析
- 11月末 別紙1~4(上期分)電力量
3(総括補正後上)電力量

【集約】需要想定様式一式【最終編】2019集計分 事業連村版 ver. 2019/3/18

様式1 平成●●年度 需要実績総括表

様式1-36

事業者名

(1) 総括表

用途別	需要電力量 (百万kWh)	対前年度増加率 25/24 (%)	備考
電 力 需 要 量	特以電灯		
	定外 低圧電力		
	規の 模 需 要 量		
	その他電力		
	計		
	特定規模需要		
	業務用		
	産業用その他		
	融通対応需要		
	夜電所内用電力量		
量	需要増減電力量		
	送電損失率 (%)	—	
	送電端需要電力量		
	最大需要電力(千kW)(8月) (冬季最大需要電力)(1月)		
年負荷率 (%)	—		
(冬季最大年負荷率)	—		
自家発自家消費電力量			
業務用自家発(再掲)			
総需要			

- 注) 1. 最大需要電力および年負荷率は、全国最大電力発生月の数値とすること。
 2. 内線電力は、その他電力に業務用電力、高圧電力A、Bを含むこと。
 3. 冬季最大需要電力は一般電気事業者のみ(除く再掲電力)。また、冬季最大年負荷率欄は冬季最大地域のみ記載すること。
 4. 特定規模需要(業務用)には、電気事業法第二条第十四項へに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。また、冬季最大需要電力(1月)は、電気事業法第二条第十四項イおよびロに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。
 5. 特定規模需要(産業用その他)には、電気事業法第二条第十四項イおよびロに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。

(2) 電灯

用途別	従量電灯A B計	従量電灯C	その他電灯	選択約款		電灯合計
				時間帯別電灯(再掲)	低圧高負荷型約款(再掲)	
項目			—			
口数(千口)			—			
原単位(kWh/口)			—			
電力量(百万kWh)			—			

- 注) 1. 選択約款=時間帯別電灯、低圧高負荷型約款
 2. 契約口数は年実績とすること。
 3. 電灯合計欄の原単位は、「電灯合計電力量/(従量電灯合計口数+選択約款口数)」から求めること。

(3) 低圧電力

用途別	製造業	非製造業	合計
項目			
需要数(千kW)			
原単位(kWh/kW)			
電力量(百万kWh)			

- 注) 需要数は年実績とすること。

(4) 深夜電力(特定規模需要以外の需要)

契約口数(千口)	
平均契約電力(M)	
1口当たり年間使用量(kWh)	
普及率(%)	
[参考]従量電灯A B日数(千口)	

- 注) 1. 契約口数は年実績とすること。
 2. 普及率は従量電灯A B日数に占める比率によること。

(5) その他電力(百万kWh)

臨時用(特定規模需要以外の需要)	
臨時用	
農事用	
融雪用	
建設工事用	
事業用	
合計	

[参 考 表]

様式1-36

事業者名

(1) 平成●●年度需要実績総括表：気温補正後

用途別	需要電力量 (百万kWh)	対前年度増加率 26/25 (%)	備考
電力	電灯		
	定規の 電		
	規の 需		
	他電力		
	深夜電力(再掲)		
	要 計		
	特定規 業用 業用その他		
	流通対 変電所内 需要端 送電損失率(%)		
	送電端 最大需要電力(kW)		
	年負荷率(%)		

注) 1. 最大需要電力および年負荷率については、全国合計の最大需要電力発生月と同一の場合は上段に、それ以外の場合は下段に自らの供給区域の最大需要電力発生月を記入の上、計上すること。
2. 沖縄電力は、その他電力に業務用電力、高圧電力A、Bを含むこと。
3. 冬季最大需要電力は一般電気事業者のみ(除く沖縄電力)、また、冬季最大年負荷率欄は冬季最大地域のみ記載すること。
4. 特定規(業務用)には、電気事業法第二十三条第四項に掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。こと。
5. 特定規(業務用その他)には、電気事業法第二十三条第四項イおよびハに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。こと。

(2) 電灯：気温補正後

用途別	項目	従量電灯A B計	従量電灯C	その他電灯	選択的款		電灯合計
					新規格電灯(再掲)	低圧高負荷電灯(再掲)	
	口数(千口)						
	原単位(kWh/口)						
	電力量(百万kWh)						

注) 1. 選択的款=特別規格電灯、低圧高負荷型契約
2. 契約口数は年央値とすること。
3. 電灯合計欄の原単位は、「電灯合計電力量/(従量電灯合計口数+選択的款口数)」から求めること。

(3) 低圧電力：気温補正後

用途別	製造業	非製造業	合計
項目			
需要数(kW)			
原単位(kWh/kW)			
電力量(百万kWh)			

注) 需要数は年央値とすること。

様式2 最大需要電力諸元

様式1-39

事業者名

(1) 最大需要電力の夏季需要・ベース需要別内訳
[月 (自社最大3日平均需要電力)]

(2) 最大需要電力の冬季需要・ベース需要別内訳
[月 (自社最大3日平均需要電力)]
(冬季最大地域のみ記入)

年度		平成●●年度	
		生	気温補正後
夏季需要	全国		
	自社		
ベース需要	全国		
	自社		
最大需要電力	全国		
	自社		
夏季需要比率 (%)	全国		
	自社		

年度		平成●●年度	
		生	気温補正後
冬季需要	全国		
	自社		
ベース需要	全国		
	自社		
最大需要電力	全国		
	自社		
冬季需要比率 (%)	全国		
	自社		

注) 1. 各欄の上段には全国合計の最大需要電力発生月の数値を、下段には自らの供給区域の最大需要電力発生月の数値をそれぞれ計上すること。
なお、同月の場合は下段を省略のこと。また、気温補正後については、自らの供給区域の最大電力発生月の数値のみでも可。
2. 最大需要電力は10³kW単位とし、小数点第1位を四捨五入すること。
3. (2)は冬季最大地域のみ記載すること。
4. 夏季(冬季)需要比率は[(夏季(冬季)需要/最大需要電力)×100]とし、小数点第2位を四捨五入すること。

様式3 平成●●年度上期 需要実績総括表

事業者名

用途別	年度		(単位: 10 ⁶ kWh、10 ³ kW、%)	
	前年度 (上期)	今年度 (上期)	今年度 (上期)	増加率 (今年度上/前年度上)
特 定 外 規 模 需 要 要 計	電灯計			
	低圧電力			
	その他電力			
	電力計			
特定規模需要				
	業務用			
	産業用その他			
流通対応需要				
変電所内用電力量				
需要端需要電力量				
送電損失率(%)				
送電端電力量				
最大需要電力	7月			
	8月			
	9月			
	夏季			

注)

1. 夏季最大需要電力は、7～9月における最大3日平均電力（送電端）を記載すること。
2. 沖縄電力は、その他電力に業務用電力、高圧電力A、Bを含むこと。
3. 特定規模需要（業務用）には、電気事業法第二条第十四項ハに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。
4. 特定規模需要（産業用その他）には、電気事業法第二条第十四項イおよびハに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。

[参 考 表] 平成●●年度上期 需要実績総括表：気温補正後

事業者名

用途別	年度		(単位: 10 ⁶ kWh、10 ³ kW、%)	
	前年度 (上期)	今年度 (上期)	今年度 (上期)	増加率 (今年度上/前年度上)
以 外 の 需 要 計	電灯計			
	低圧電力			
	その他電力			
	電力計			
特定規模需要				
	業務用			
	産業用その他			
流通対応需要				
変電所内用電力量				
需要端需要電力量				
送電損失率(%)				
送電端電力量				
最大需要電力	7月			
	8月			
	9月			
	夏季			

注)

1. 夏季最大需要電力は、全国最大発生月および自らの供給区域の最大発生月における最大3日平均電力（送電端）を記載すること。
2. 沖縄電力は、その他電力に業務用電力、高圧電力A、Bを含むこと。
3. 特定規模需要（業務用）には、電気事業法第二条第十四項ハに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。
4. 特定規模需要（産業用その他）には、電気事業法第二条第十四項イおよびハに掲げる接続供給により供給される分を含むものとする。

平成●●年度 気温実績の推移（上期）

事業者名 _____

(1) 平均気温

(単位：℃)

	4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実績(a)																												
平年(b)																												
差(a)-(b)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

平成●●年度 気温補正量（上期）

事業者名 _____

(1) 電力量

(単位：℃、10⁶ kWh)

月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月
気 温	実績(a)						
	平年(b)						
	差(a)-(b)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対象累計温度差							
1℃あたり変動電力量							
(参考)	前年						
同上	前々年						
備 考							

(注) 1. 気温は平均気温。 2. 1℃あたり変動電力量は発電電端とすること。

(2) 最大3日平均電力

発生日(時)				平均
指 標	実績(a)			
	基準(b)			
	差(a)-(b)			0.0
感応度				
備 考				

<参考>前年

発生日(時)				平均
指 標	実績(a)			
	基準(b)			
	差(a)-(b)			0.0
感応度				
備 考				

<参考>前々年

発生日(時)				平均
指 標	実績(a)			
	基準(b)			
	差(a)-(b)			0.0
感応度				
備 考				

(注) 使用した指標を備考欄に記載すること。

※8月が夏季最大発生日でない場合は8月分を記載

発生日(時)				平均
指 標	実績(a)			
	基準(b)			
	差(a)-(b)			0.0
感応度				
備 考				

<参考>前年

発生日(時)				平均
指 標	実績(a)			
	基準(b)			
	差(a)-(b)			0.0
感応度				
備 考				

<参考>前々年

発生日(時)				平均
指 標	実績(a)			
	基準(b)			
	差(a)-(b)			0.0
感応度				
備 考				

平成●●年度 気温補正量(上期)(2)

事業者名

(1) 電力量

(単位:10⁶ kWh, %)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計 (4~10月)	合計 (4~9月)
特定規模需要以外の需要	従量電灯A・B(A)									
	従量電灯C(B)									
	選択約款									
	電灯計 (a)									
	低圧電力 (b)									
	電力計									
	電灯電力計									
特定規模需要	業務用 (c)									
	産業用その他									
	計									
合 計										
【再掲】(a)+(b)+(c)										

- (注) 1. 4月分には、4月暦月分(今回補正分)のみを記載すること(3月からの流れ込みを含めて記載しないこと)。
 2. 10月分には、9月暦月流れ込み分のみを記載すること。
 3. 夏季分、冬季分の両方を含めて記載すること。
 4. 産業用その他は、原則として補正対象外とすること。

(2) 最大3日平均電力 (単位:10³ kW)

	補正量
8月	
月 (夏季最大)	

(注) 夏季最大は8月以外の月に夏季最大発生した場合に記載すること。

平成●●年度 月別 気温補正量

事業者名

(単位:10⁶ kWh)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	年度
特定規模需要以外の需要	従量電灯 A・B (A)	夏季分						0							0	0
		冬季分													0	0
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	従量電灯 C (B)	夏季分							0						0	0
		冬季分													0	0
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電灯 選択約款	夏季分							0						0	0
		冬季分													0	0
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電灯計 a	夏季分							0						0	0
		冬季分													0	0
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
低圧電力 b	夏季分							0						0	0	
	冬季分													0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電力計	夏季分							0						0	0	
	冬季分													0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電灯電力計	夏季分							0						0	0	
	冬季分													0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定規模需要	業務用 c	夏季分						0						0	0	
		冬季分												0	0	
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産業用 その他	夏季分							0						0	0
		冬季分													0	0
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定規模 計	夏季分							0						0	0	
	冬季分													0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合 計	夏季分							0						0	0	
	冬季分													0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(再掲) a+b+c	夏季分							0						0	0	
	冬季分													0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

平成●●年度 気温実績の推移（下期）

事業者名 _____

(1) 平均気温

	10月				11月				12月				1月				2月				3月				4月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実績(a)																												
平年(b)																												
差(a)-(b)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

29

平成●●年度 気温補正量（下期）

事業者名 _____

(1) 電力量 (単位: °C, 10⁶ kWh)

月別		10月	11月	12月	1月	2月	3月
気温	実績(a)						
	平年(b)						
	差(a)-(b)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対象累計温度差							
1°Cあたり変動電力量							
(参考)	前年						
	同 上 前々年						
備考							

(注) 1. 気温は平均気温。 2. 1°Cあたり変動電力量は発電電端とすること。

(2) 最大3日平均電力※冬季に年間の最大需要電力が発生する供給区域のみ

発生月日(時)				平均
指標	実績(a)			
	基準(b)			
	差(a)-(b)			0.0
感応度				
備考				

<参考>前年

発生月日(時)				平均
指標	実績(a)			
	基準(b)			
	差(a)-(b)			0.0
感応度				
備考				

<参考>前々年

発生月日(時)				平均
指標	実績(a)			
	基準(b)			
	差(a)-(b)			0.0
感応度				
備考				

(注) 使用した指標を備考欄に記載すること。

平成●●年度 気温補正量(下期)(2)

事業者名

(1) 電力量

(単位:10⁶ kWh, %)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
		(平成●●年度)							(10~3月)
特定規模需要以外の需要	従量電灯A・B(A)								
	従量電灯C(B)								
	選択約款								
	電灯計(a)								
	低圧電力(b)								
	電力計								
	電灯電力計								
特定規模需要	業務用(c)								
	産業用その他								
	計								
合計									
【再掲】(a)+(b)+(c)									

- (注) 1. 10月分には、10月暦月分(今回補正分)のみを記載すること(9月からの流れ込みを含めて記載しないこと)。
 2. 4月分には、3月暦月流れ込みのみを記載すること。
 3. 夏季分、冬季分の両方を含めて記入すること。
 4. 産業用その他は、原則として補正対象外とすること。

(2) 最大3日平均電力 (単位:10³ kW)

月	補正量

(注)最大3日平均電力は冬季に年間の最大需要電力が発生する供給区域のみ、記載すること。

平成●●年度 月別 気温補正量

事業者名

(単位:10⁶ kWh)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	年度
特定規模需要以外の需要	従量電灯A・B(A)	夏季分						0								0
		冬季分														0
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	従量電灯C(B)	夏季分														0
		冬季分														0
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電灯選択約款	夏季分														0
		冬季分														0
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電灯計a	夏季分														0
		冬季分														0
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
低圧電力b	夏季分														0	
	冬季分														0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電力計	夏季分														0	
	冬季分														0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電灯電力計	夏季分														0	
	冬季分														0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定規模需要	業務用c	夏季分														0
		冬季分														0
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	産業用その他	夏季分														0
		冬季分														0
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定規模計	夏季分														0	
	冬季分														0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	夏季分														0	
	冬季分														0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(再掲)a+b+c	夏季分														0	
	冬季分														0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

過去の需要実績と需要想定を検証(電力量)

事業者名 _____

平成●●年度

(単位:億kWh)

	乖離状況			差異分析		
	想定(至近)	実績	実績-想定			
電力量				気温影響		
				その他	(例) 節電影響	
					(例) 景気影響等	

※億kWh未満の端数を切り捨て

(提出期限:7月末)

過去の需要実績と需要想定を検証(電力量)

事業者名 _____

平成●●年度

(単位:億kWh)

	乖離状況			差異分析		
	想定(至近)	実績	実績-想定			
家庭用その他				気温影響		
				その他	(例) 節電影響	
					(例) 景気影響等	
業務用				気温影響		
				その他	(例) 節電影響	
					(例) 景気影響等	
産業用				気温影響		
				その他	(例) 節電影響	
					(例) 景気影響等	
計				気温影響		
				その他	(例) 節電影響	
					(例) 景気影響等	

※億kWh未満の端数を切り捨て

(提出期限:7月末)

過去の需要実績と需要想定を検証(最大電力)

事業者名 _____

平成●●年度(●月)

(単位:万kW)

	乖離状況			差異分析		
	想定(至近)	実績	実績-想定			
最大電力 (最大3日平均、送電端)				気温影響		
				その他	(例) 節電影響	
					(例) 景気影響等	

(提出期限:10月末)

過去の需要実績と需要想定を検証(最大電力)

(冬季最大会社)

事業者名 _____

平成●●年度(●月)

(単位:万kW)

	乖離状況			差異分析		
	想定(至近)	実績	実績-想定			
最大電力 (最大3日平均、送電端)				気温影響		
				その他	(例) 節電影響	
					(例) 景気影響等	

(提出期限:5月末)